

福島県立医科大学附属病院

平成23年度 第4回

# 臨床腫瘍セミナー

ドラッグラグと高騰する薬剤費を切る！

日時

平成23年8月16日(火)

18:00~19:00

場所

福島県立医科大学

11号館(臨床講義棟)

第二臨床講義室

演題

日本の抗癌剤開発・医療経済の問題点について  
—製薬企業で働く医師の立場から—

講師

日本イーライリリー株式会社 オンコロジー事業部  
事業本部長 安達 進 先生

●講師紹介●

1987年奈良県立医科大学卒業、奈良県立医科大学産婦人科にて研修後、東大阪市立中央病院、済生会富田林病院勤務 1996年より兵庫医科大学産婦人科助手、講師を経て、2002年、製薬会社、日本イーライリリーに入社 臨床開発医師として日本での抗癌剤開発に関わる。2005年より、米国本社にて臨床開発医師としてグローバル試験に関与した後、米国でMRなどの経験後、2008年12月より、日本イーライリリー抗癌剤事業部事業部長

●講演内容●

近年、癌治療の進歩は目覚しく、様々な作用機序を持った分子標的薬などの新規抗がん剤の開発が進み、腎癌、肝癌など長らく難治性とされた癌においても予後の改善が得られている。しかしながら、日本における新規抗癌剤の承認は、米国、EUの承認から2-6年の遅れがあり、ドラッグラグとして大きな問題となっている。ドラッグラグ解消の一つの方法論として、国際共同試験への参加が叫ばれ、多数の国際共同試験に日本の施設も参加するようになっている。しかし、海外製薬企業の立場から日本の国際共同試験への参加を見ると様々な問題がある。また、このような新規抗癌剤の開発には、従来と比較して巨額の開発費用が必要となり、薬価の上昇を招いている。このような現状を、製薬企業で働く医師の立場から論じるとともに、製薬企業で働く医師の仕事についても簡単に述べたい。

- がん治療に携わる医師及びコメディカルを対象に公開セミナーとして開催されます
- 本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成プラン」事業の一環となっております
- 本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します

お問い合わせ先

福島県立医科大学附属病院

臨床腫瘍センター

がんプロフェッショナル養成支援室

電話 547-1410(内線2661)

メール akiko-a@fmu.ac.jp

次回開催のお知らせ

日時 平成23年9月20日(火)18時~19時

講師 宮城県立がんセンター 医療局 歯科

臼淵公敏先生

内容 「がん患者における口腔ケアの重要性と実際

~医科歯科・病診連携による取組みの一例」